



阿波製紙株式会社

平成30年3月期 決算説明資料

平成30年5月14日



I . 平成30年3月期 決算概要

業績サマリー(対前期比)

(単位：百万円)

	平成29年3月期		平成30年3月期		前年同期比増減	
売上高	16,300	100.0%	16,083	100.0%	▲216	▲1.3
営業利益	519	3.2%	416	2.6%	▲103	▲19.9
経常利益	397	2.4%	331	2.1%	▲65	▲16.5
親会社株主に帰属 する当期純損益	483	3.0%	▲1,219	-	▲1,702	-

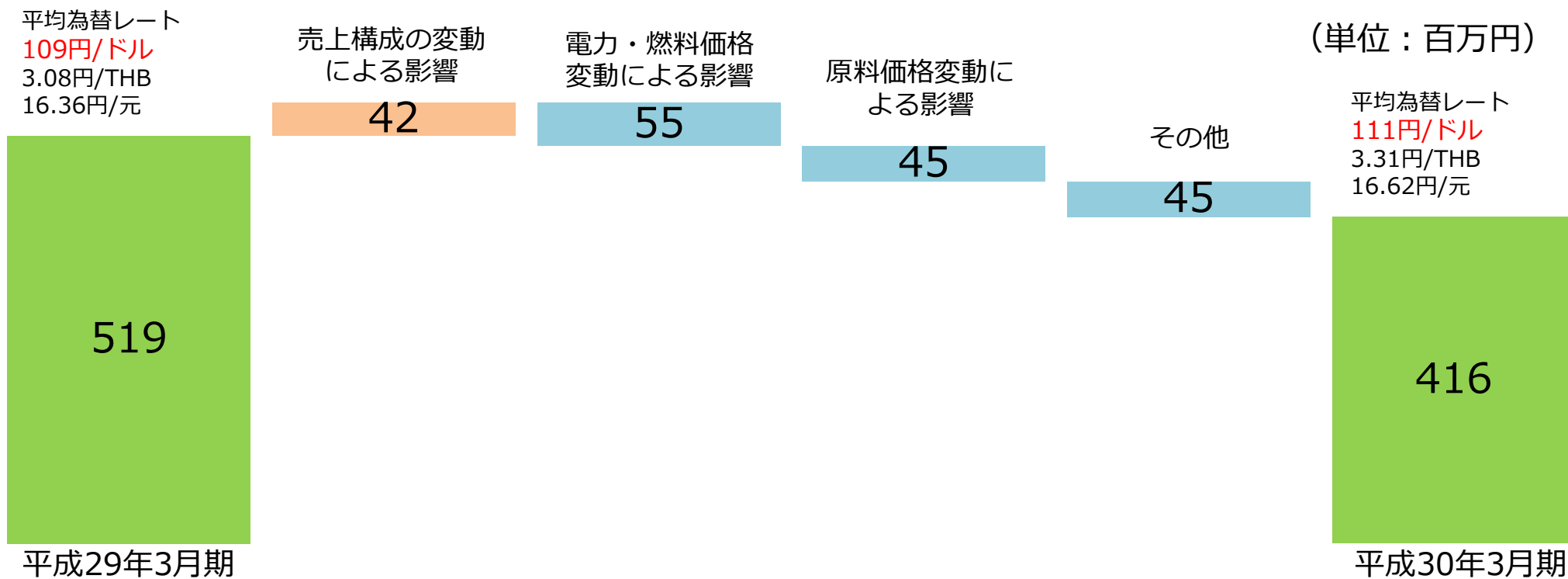
○売上高・営業利益・経常利益・・・

売上高は、主として一般産業用資材の空調用原紙の受注減少や建材用原紙の仕入販売の減少により、前年同期比で減収となりました。利益面では、原燃料価格の値上りや人件費の増加等により、営業利益、経常利益は前年同期比で減益となりました。

○親会社株主に帰属する当期純損失・・・

徳島・小松島両工場におきまして、海外への生産移管や受注減少により収益性が低下したことに加え、土地市場価格の下落により、減損の検討を行いました結果、固定資産の減損を16億8千万円特別損失に計上いたしました。そのため、親会社株主に帰属する当期純損失となりました。

連結営業利益増減内訳(対前期比)



	増減額(百万円)	主な要因
売上構成変動	+42	主に水処理関連資材及び自動車関連資材の売上増加による
電力・燃料価格変動	▲55	主に国内における重油価格及び電力単価の変動による
原料価格変動	▲45	主にリントーパルプの値上がりによる
その他	▲45	人件費の増加、減価償却費の増加ほか
営業利益増減 計	▲103	

連結貸借対照表(対前期末比)

(単位：百万円)

	平成29年3月末	平成30年3月末	増減
流動資産	7,625	6,416	▲1,208
固定資産	11,187	10,399	▲788
資産合計	18,813	16,816	▲1,997
流動負債	6,575	6,243	▲332
固定負債	4,758	4,098	▲660
負債合計	11,334	10,341	▲992
純資産合計	7,479	6,474	▲1,004
負債・純資産合計	18,813	16,816	▲1,997

(資産)

○有形固定資産の減少、商品及び製品の減少、現金及び預金の減少などにより資産が減少いたしました。

(負債)

○長期借入金の減少、再評価に係る繰延税金負債の減少などにより負債が減少いたしました。

(純資産)

○土地再評価差額金の減少、利益剰余金の減少などにより純資産が減少いたしました。

平成31年3月期 業績予想

(単位：百万円)

	平成30年3月期		平成31年3月期 業績予想		前年同期比増減	
売上高	16,083	100.0%	17,000	100.0%	+916	+5.7%
営業利益	416	2.6%	620	3.6%	+203	+49.0%
経常利益	331	2.1%	660	3.9%	+328	+98.8%
親会社株主に帰属する 当期純損益	▲1,219	-	420	2.5%	+1,639	-
ROA	1.9%	-	3.9%	-	-	+2.0P

通期連結業績 見通し 設定為替レート 107円/\$ (平成30年3月期平均為替レート 111円/\$)

○売上高：

自動車関連市場において新興国市場を中心に需要が堅調に推移すると見込むとともに、水ビジネス市場において今後も市場規模は拡大するものと予想されるため、通期見通しは前期比+9.1億円の170億円となる見通しです。

○営業利益・経常利益：

原燃料価格の値上がりや設備投資に伴う減価償却費の増加などが見込まれるものの、生産面における原価低減活動や間接部門の業務効率の向上などにより収益性の確保に努め、営業利益は前期比+2.0億円の6.2億円、経常利益は前期比+3.2億円の6.6億円となる見通しです。

○親会社株主に帰属する当期純利益：

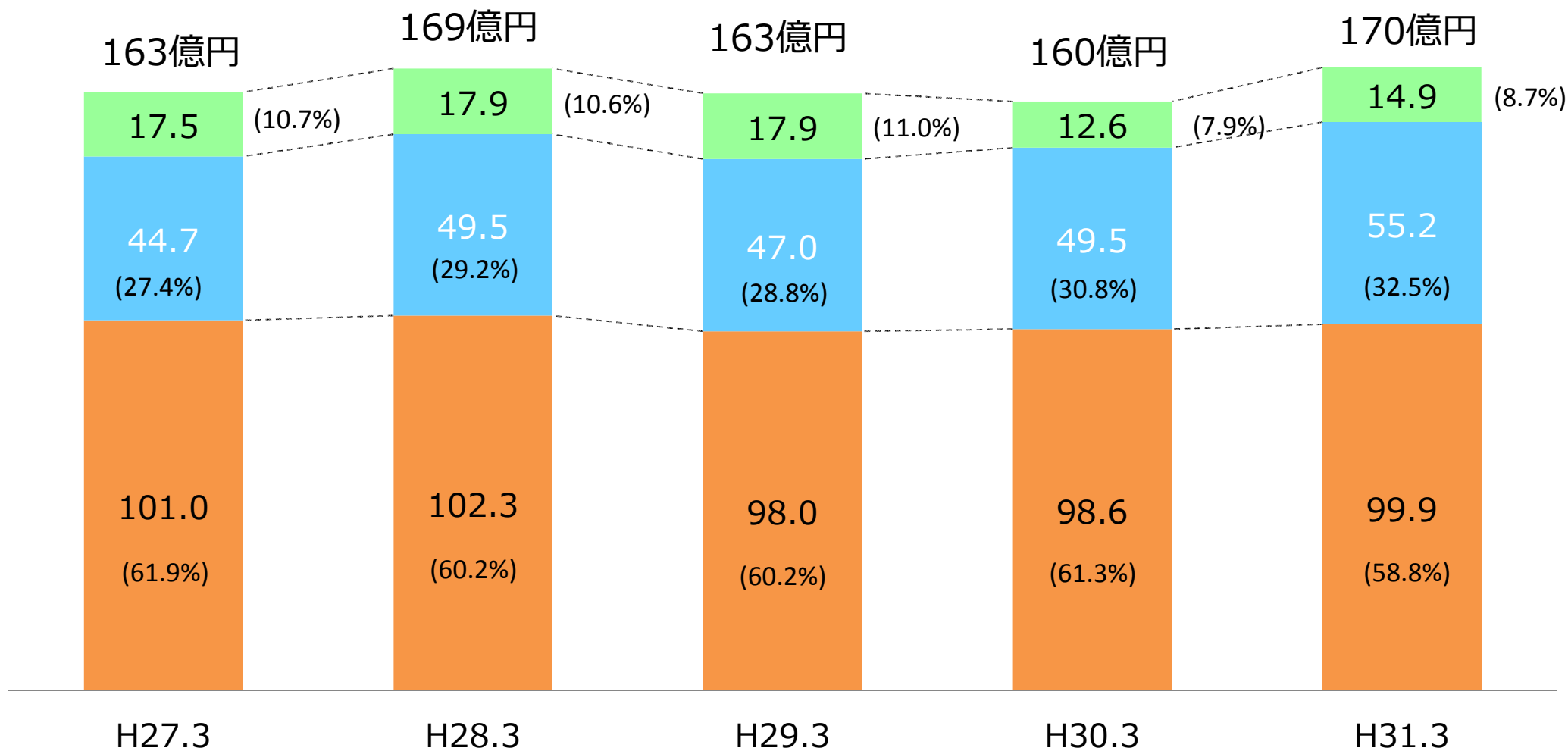
平成30年3月期において固定資産の減損損失を特別損失として16億8千万円計上したため、親会社株主に帰属する当期純利益は前期比+16.3億円の4.2億円となる見通しです。

売上高推移と見通し

(単位：億円)

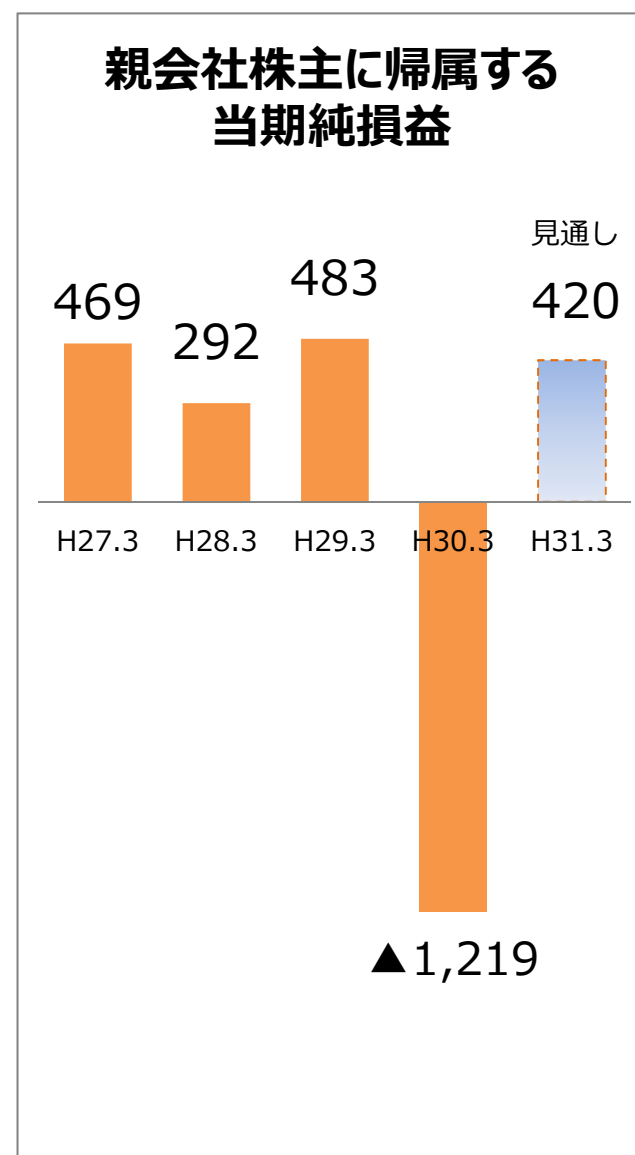
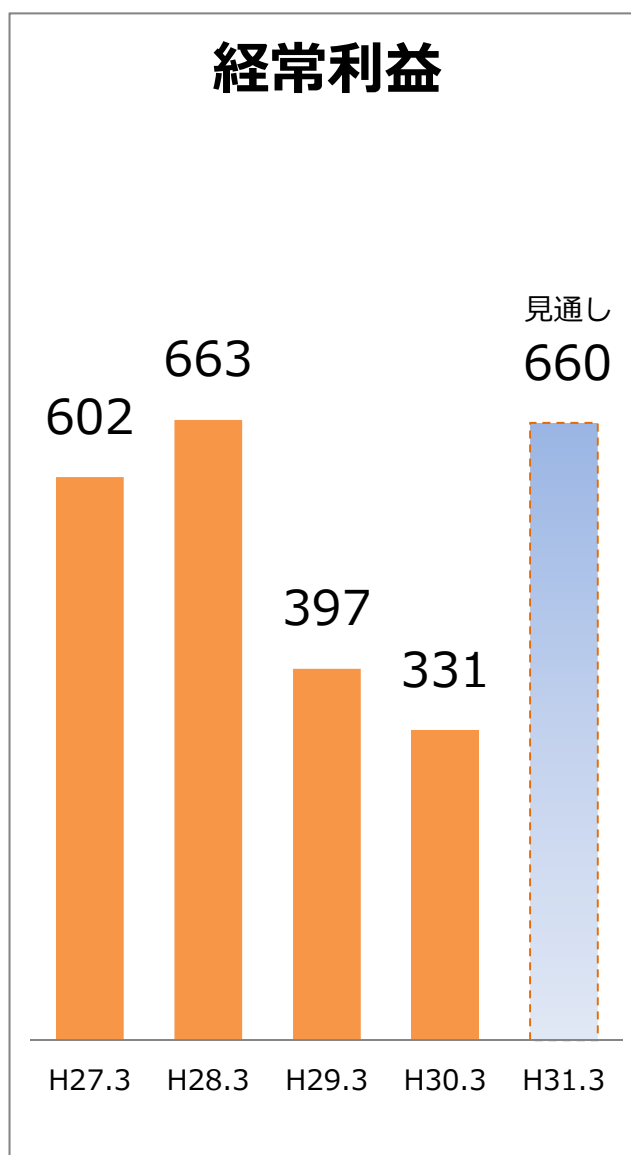
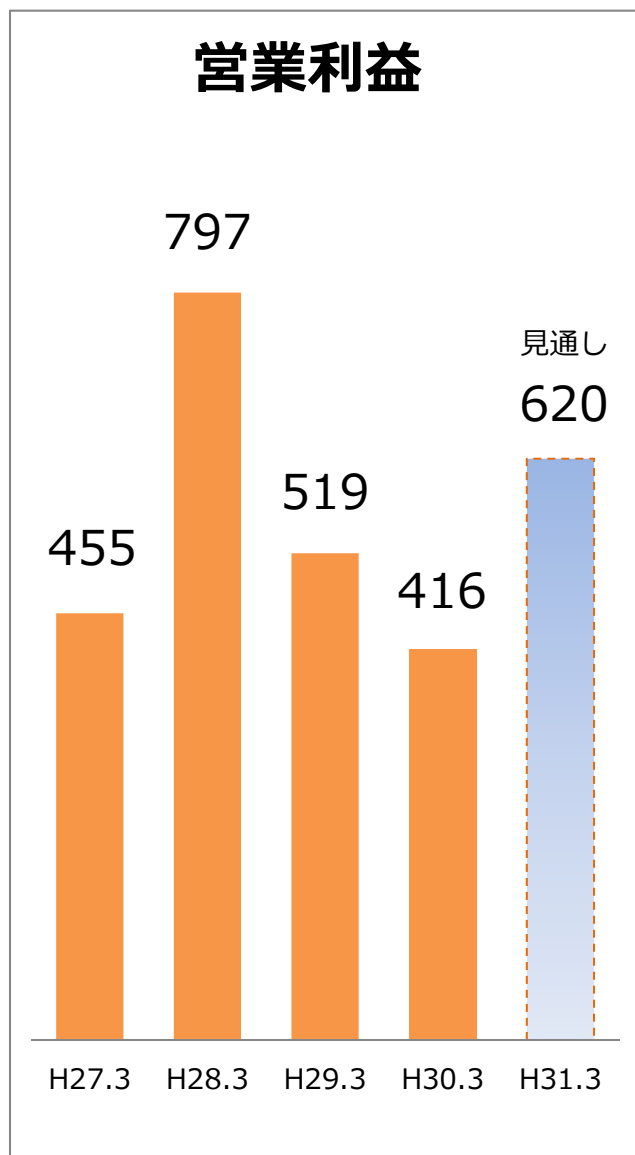
■ 自動車関連資材 ■ 水処理関連資材 ■ 一般産業用資材

見通し



業績推移と見通し

(単位：百万円)





Ⅱ. トピックス

阿南事業所 工場棟及び倉庫竣工について

2018年2月、阿南事業所内に新しく工場棟及び倉庫が完成いたしました。これらの建物は、防災対策(BCP)によりお客様への安定供給をさらに強固なものとすることや物流の効率化等を図ったものです。



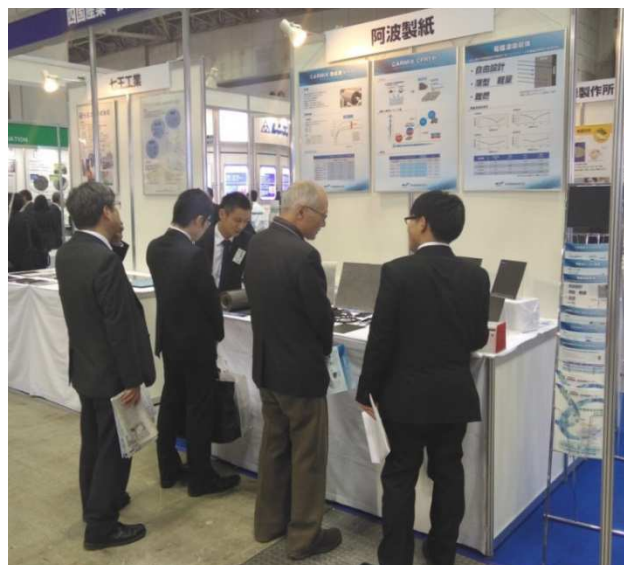
工場棟及び自動倉庫



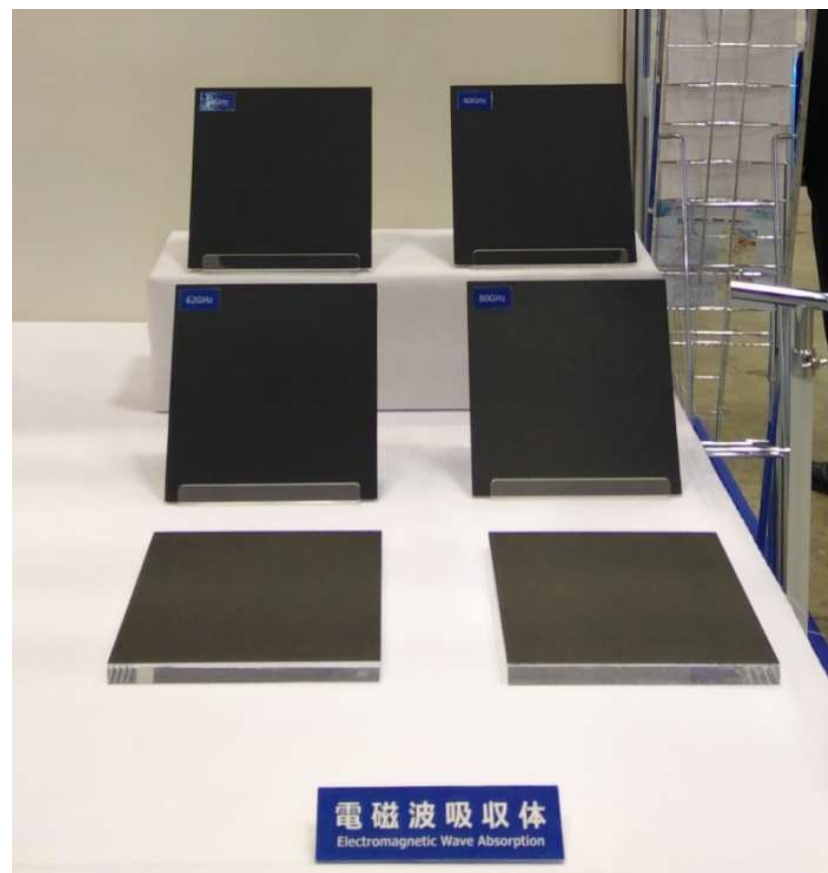
新設した自動倉庫内での式典の様子

新製品の展示会出展

2018年2月14日～16日に東京ビッグサイトにおいて開催されました「新機能性材料展2018」に「CARMIX CF RTPマット」「CARMIX 熱拡散シート」に加えて、新製品「電磁波吸収体」を出展いたしました。



展示ブースの様子



電磁波吸収体の出展

設備投資の状況

現在、連結子会社Thai United Awa Paper Co.,Ltd.において生産設備の改造を行っております。

これは、海外における自動車関連資材（エンジン用濾材）の高性能商品の生産体制確立を目的としております。

今後、アジア地域を中心に拡販を進めるとともに、最適地供給に注力してまいります。



Thai United Awa Paper Co.,Ltd.



- 使用例：
エンジン用フィルター
- ・エア
 - ・オイル
 - ・フューエル



III. 製品概要

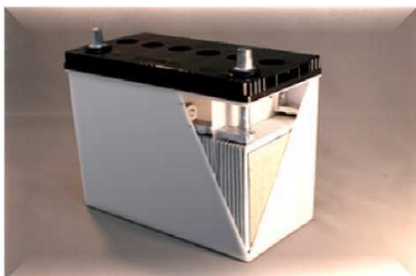
自動車関連資材

製品内容

自動車の様々なパーツに用いる機能材



使用例：
エンジン用フィルター



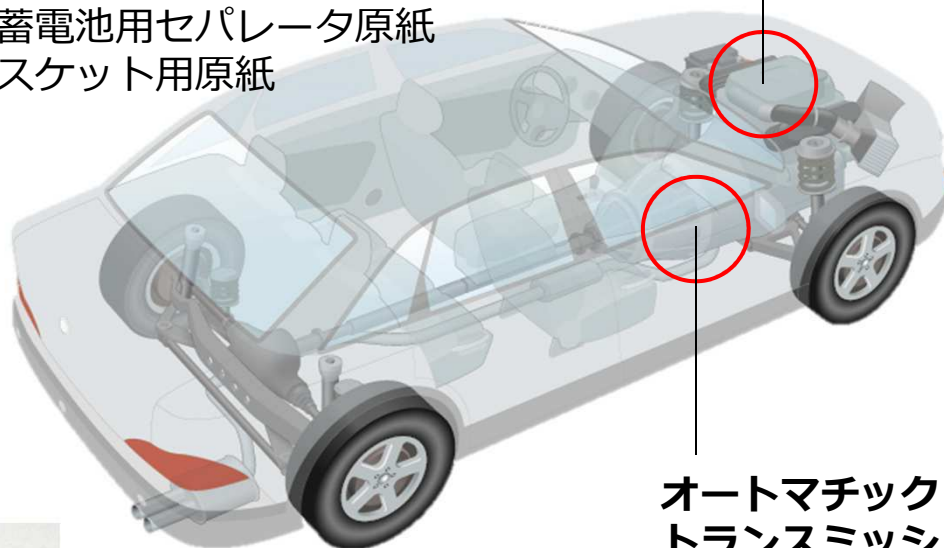
使用例：
鉛蓄電池用セパレータ



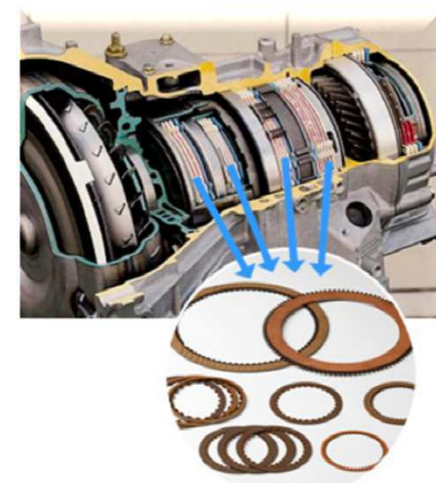
使用例：
耐熱ガスケット

エンジン周辺

- エンジン用濾材
 - ・エアー
 - ・オイル
 - ・フューエル
- 鉛蓄電池用セパレータ原紙
- ガスケット用原紙



オートマチック
トランスミッション内
●クラッチ板用摩擦材



使用例：
クラッチ板用摩擦材

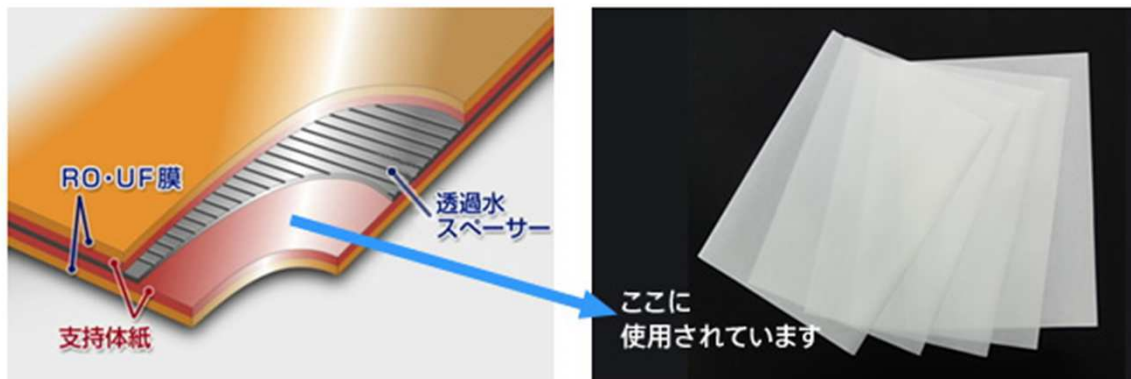
水処理関連資材

製品内容

主として分離膜支持体やMBR用浸漬膜ユニットなど

●分離膜支持体

水処理に用いる分離膜の支持体紙として使用されている。分離膜支持体ROモジュールの用途は、純度の高い水の製造、海水の淡水化、その他工業用、食品用、飲料用などである。

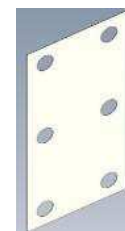


主な使用例：分離膜支持体ROモジュール

●浄水器用原紙

●MBR用浸漬膜ユニット M-fine

MBR用浸漬膜ユニットとは、廃水処理用として注目を集めているMBR用に自社で開発された高効率膜工レメントをユニット化したものです。



エレメント



MBR(膜分離活性汚泥法)用
浸漬膜ユニット

一般産業用資材

主要製品群

- 鮮度保持剤包材
- 加湿器用原紙、除湿器用原紙
- 全熱交換用原紙
- クッション紙
- パッキン用原紙
- 醸造用濾紙
- 放電加工用フィルター原紙



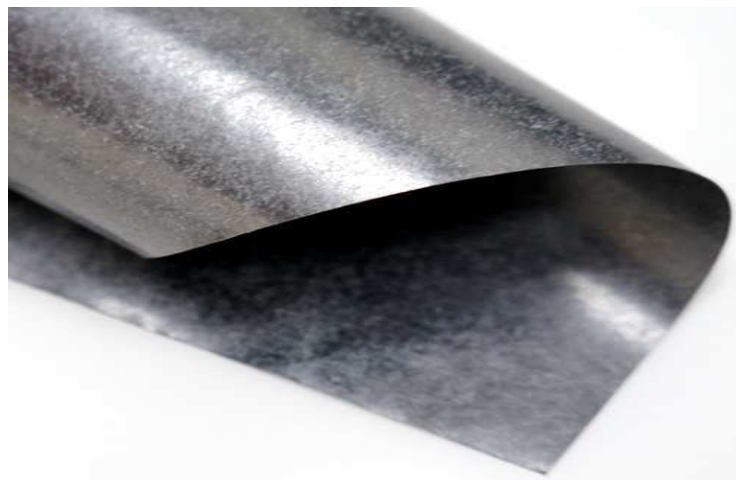
全熱交換機用



放電加工用フィルター

CARMIX

- 熱拡散シート
- CFRTPマット



熱拡散シート



CFRTPマットの成形品



注意事項

本資料における将来予想に関する記述につきましては、現時点で入手可能な情報や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。

そのため将来における当社の業績は、様々な要因により現在の当社の将来予想と異なる結果になる可能性があります。

お問い合わせ先
経営管理部 経営企画室
TEL : 088-631-8101 FAX : 088-633-2096
<https://www.awapaper.co.jp/>